

ブラジル
アマパ・イニシアティブ
現地からのお便り

2017年2月
コンサベーション・インターナショナル

私達はブラジルで「“空気をはぐくむ森”プロジェクト」を通じて、アマパ国有林とアマパ州有林という2つの保護地域の保全に取り組んでいます。2016年10～12月の四半期の活動をご報告しましょう。

地域の広報ネットワークの支援と保護地域の管理

広報計画の完成！

以前のお便りでご報告した通り、私達は2016年3月から9月にかけて、アマパ州の2つの保護地域の広報計画作りに必要な基本的なインプットを行うために、地元の人々が参加するワークショップを3回、アマパ州の保護地域のマネージャーが参加するワークショップを1回開催してきました。その結果、保護地域のマネージャー達の積極的な参加を得て、2016年12月に広報計画の最終版が完成しました。

広報計画の主な目的は、保護地域の管理についての情報を提供し、人々の保全に対する感度を上げ、管理を促し、統合させることです。そのため、保全にかかわる人々とそれ以外の公共にかかわる人々を結びつける戦略的な方法について熟考しました。

第2回ギアナ高地保護地域ワークショップ（II SAPEG）の開催

2016年11月7～9日に、パラ州サンタレムのアルター・ド・チャウン村にて、ギアナ高地保護地域に関する第2回目のワークショップが開かれ、政府と市民社会の94団体から218人が参加しました。会議の主な目的は、「開発、社会との関わり、土地の管理」について議論することでした。



II SAPEGの参加者たち（写真：Rafael Araujo - SAPEG Organization）

ワークショップの議題の一つに、アマパ州の保護地域の広報活動がありました。ワークショップ参加者から技術的な示唆を受けるべく、アマパ州環境局が広報計画について発表しました。



II SAPEG での保護地域の広報についての作業グループの様子（写真：CI - Josinei Garcia）

さらに、SAPEG 開催中の 3 日間に、昔ながらの生活を営む人々、先住民、森で採取できる産物を活用している人々が、パラ州とアマパ州の保護地域で作られた製品を展示、販売する「SAPEG フェア」を開催しました。CI ブラジルが支援して、アマパ国有林とアマパ州有林の地元の人々が作ったバイオ化粧品もフェアに参加しました。



SAPEG フェアの様子（写真：Rafael Araujo – SAPEG organization）

多様な目的を満たす森林の管理とアグロエコロジープログラムの支援

経済活動は、地域の社会・経済的な開発にとって重要です。持続可能性が重んじられれば、経済活動によって戦略的に生態系のバランスが維持され、人々の幸せを生み出すことができます。

ビジネス管理研修

2016 年 11 月 17 日から 19 日にかけて、アマパ国有林とアマパ州有林の住民を対象に、ビジネスの管理について学ぶ研修を行いました。参加者は、バイオ化粧品を製造するための非木材林産物の加工について学びました。研修には、アラグアリ川の農産物生産者協会（ボムスセソ協会）から 12 名が参加しました。



ビジネス管理に関する研修の出席者（写真：ICMBio/Sueli Pontes）

研修の目的は、アマパ国有林及びアマパ州有林のコミュニティの社会的な団体を強化すること、そしてそこで暮らす人々のビジネス管理能力を高めることです。研修では、プロセス管理、製造、お金の流れ、マーケティング、販売戦略などについて話し合いました。